

報道用資料

記者会見

記者発表

配布

平成22年12月15日

件名「松江市一斉ノーマイカーウィーク」の実施結果について

[内容]

平成22年10月18日(月)～24日(日)に実施しました「ノーマイカーウィーク」の実施結果についてとりまとめましたのでお知らせします。

多数の事業所や市民の方々に参加下さり、渋滞緩和、公共交通の利用促進、CO2削減等に大きな効果を与えることができました。

また、今年松江市内の路線バス運賃一乗車100円、パーク&ライド、JR交通社会実験など様々な交通社会実験にも取り組み、多くの方々の利用がありました。

今後も引き続き松江市のより良好な交通と環境の実現に向けた市民・事業所への意識啓発を継続して実施していく予定です。

[参加事業所数・参加者数]

- 約100事業所、期間中(7日間)延べ約3,200人が参加。(H21: 約100事業所、延べ約3,200人が増加)のうち約8割の事業所は昨年からの継続参加。

[ノーマイカーウィークの効果]

○効果1: 渋滞が大幅に減少

□通常時: H21.10.7(水)、期間中: H22.10.21(木)、22(金)の調査データ

- 市内全域で渋滞が大幅に緩和
- 最大渋滞長が宍道湖大橋北詰(東進)で約90%(H21:約70%)、JR松江駅東(南進)で約75%(H21:50%)減少等

○効果2: 鉄道・バス・自転車・パーク&ライド駐車場の利用者数が増加

- 松江市内の路線バスの利用者数が約18%増加 □通常時: H22.11.4(木)、期間中: H22.10.21(木)の調査データ
- 宍道駅・玉造温泉駅の朝の通勤時間帯のJR利用者数が約30%増加 □通常時: H22.9.30(木)、期間中: H22.10.21(木)の調査データ
- 市内12箇所のパークアンドライド駐車場を、期間中延べ178人(H21:14人利用)が利用
- 大橋川を横断する自転車交通量が約18%増加(H21:約30%増加) □通常時: H21.10.7(水)、期間中: H22.10.21(木)の調査データ

○効果3: CO2の排出量が約20トン削減

※事後の事業所アンケート結果の行動変容者数、交通実態調査結果より算出

- 平日の5日間において約3,000人が行動を変容された結果、約20トンのCO2排出量が削減(H21: 約3,200人、約15.4トン)。

○効果4: ノーマイカーの取り組みの機運の醸成

※事後の事業所アンケート結果より

- 事業所へのアンケート結果では、約90%が「今後もクルマ利用を控える取り組みを続けよう(はじめよう)と思う」(H21:約80%)、約95%が「ノーマイカーウィークを続けた方が良いと思う」と回答(H21:約95%)等
- 38%の事業所が、期間中業務での移動もマイカー利用を控える取り組みを実施

[継続実施による効果: ノーマイカー通勤者が増加]

※事後の事業所アンケート結果より

- 約30%の事業所で「車通勤をやめた」、「時々車以外で通勤」する人が増加。

問い合わせ

松江市役所

政策部地域・交通政策課

課長 足立 専門企画員 深江 TEL(0852)55-5661

都市計画部・都市計画課

課長 多久和 副主任 杉谷 TEL(0852)55-5380

国土交通省松江国道事務所

副所長 常松 宏 調査設計課長 加田 厚

TEL(0852)26-2131

○添付資料

有

○写真

無

○図面・イラスト

無

○説明

無

決裁

広報主任	広報事務 連絡員

※必要部数

記者会見 35部

記者発表 25部

配布資料 23部

松江市一斉ノーマイカーウィーク [H22.10.18(月)~24(日)] の実施結果について

松江市では高い自動車利用による慢性的な渋滞、公共交通利用者の減少、CO2排出等の増加等が深刻化しています。このような交通・環境問題に対し、事業所や市民の皆様にも過度なクルマ利用を見直すきっかけづくりとして、昨年に引き続き「松江市一斉ノーマイカーウィーク」を10月18日(月)~24日(日)にかけて実施しました。

また、今年は松江市内の路線バス運賃一乗車100円、パーク&ライド、JR交通社会実験等様々な交通社会実験にも取り組み、多くの皆様に利用頂きました。

多くの市民・事業所のみなさまの協力で、期間中約100事業所、7日間延べ約3,200人の方に取り組みに参加いただき、大きな効果をあげることができました。

<結果の概要>

1. マイカーからの転換交通手段の状況（事後の事業所アンケート結果から）

- 参加者のマイカーからの転換交通手段は、「自転車」が24%と最も多い、次いで「バス」(21%)、「相乗り」(19%)、「徒歩」(13%)、「鉄道」(12%)の順となっています。

【参考】H21:「自転車」32%、「バス」15%、「相乗り」18%、「徒歩」16%、「鉄道」11%

2. 松江市一斉ノーマイカーウィークの効果

効果1: 期間中、渋滞が大幅に減りました。

- 期間中多くの市民・事業所がマイカーから公共交通や自転車・徒歩等に転換した結果、市内の主要交差点(主要渋滞ポイント等)で朝ピーク時の渋滞長が軒並み減少。
 - ・最大渋滞長が宍道湖大橋北詰(東進)で約90%減少、JR松江駅東(南行き)で約75%減少 等
- 今回のノーマイカーウィークでは、市・県等の行政職員も率先して取り組んだため、宍道湖大橋北詰交差点等で大幅に渋滞長が減少したものと考えられます。

効果2: 鉄道・バスの乗客数、自転車・パーク&ライド駐車場利用者が増えました。

- 期間中、松江市内の路線バスの乗客数が約18%増加。
- 宍道駅・玉造温泉駅の朝の通勤時間帯のJR利用者数が約30%増加。
- 市内12箇所のパークアンドライド駐車場を、期間中延べ178人が利用。
- また、事後の事業所アンケート結果よりマイカーからの転換交通手段として最も多かった自転車は、期間中の自転車通行量が軒並み増加。
 - ・大橋川を横断する自転車交通量が約18%増加 等
- 要因としては、ノーマイカーウィーク期間に合わせて松江市内の路線バス運賃一乗車100円、パーク&ライド、JR交通社会実験などの公共交通の利用促進を図ったこと等が考えられます。

効果3: CO2の排出量が約20トン削減されました。

- 平日の5日間において延べ約3,000人がマイカーから公共交通や自転車・徒歩等に行動を変容された結果、約20トンのCO2排出量が削減(約1,360世帯が1日に排出するCO2の量に相当)。

効果4: ノーマイカーの取り組みの機運が高まりました。

- 事業所アンケート結果では約90%が「今後もクルマ利用を控える取り組みを続けよう(はじめよう)と思う」、約9.5%が「ノーマイカーウィークの取り組みを続けた方が良いと思う」と回答するなど、肯定的な意見が多くみられ、今回のノーマイカーウィークをきっかけにクルマ利用を控える取り組みの機運が醸成されました。

継続実施による効果: ノーマイカー通勤者が増えています。

- 事業所アンケート結果では、昨年のノーマイカーウィーク以降約10%の事業所で「車通勤をやめた」、約20%の事業所で「時々車以外で通勤する人が増加した」と回答するなど、ノーマイカーウィークをきっかけに、ノーマイカー通勤者が増えています。

3. 参加者からの声

① 取り組みに参加してよかったこと

- 期間中に徒歩・自転車で通勤した方からは、「運動になった」、「気分が良かった」、「心身ともにリフレッシュになった」、等の声が、公共交通で通勤した方からは「たくさん歩くので健康に良い」、「公共交通機関の利用増加につながった」などの声が多く寄せられました。

② ノーマイカーの取り組みを進める上での課題

- 今後、クルマ利用を控える取り組みを進めていく上での課題として、「公共交通の充実・利便性の向上」、「安全で快適な歩行者・自転車環境の整備」など貴重なご意見を数多くいただきました。
⇒みなさまからの貴重なご意見は環境改善の参考にさせていただきます。

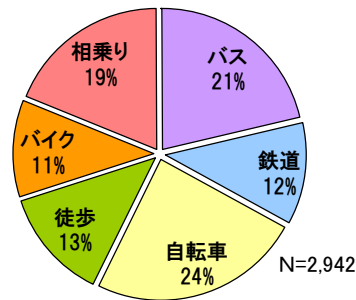
1. マイカーからの転換交通手段の状況

■参加者のマイカーからの転換交通手段の状況

- 参加者のマイカーからの転換交通手段は、「自転車」が24%と最も多く、次いで「バス」(21%)、「相乗り」(19%)、「徒歩」(13%)、「鉄道」(12%)の順となっています。

【参考:昨年の状況】

「自転車」32%、「バス」15%、「相乗り」18%、「徒歩」16%、「鉄道」11%



※事後の事業所アンケート結果より

2. 松江市一斉ノーマイカーウィークの効果

効果1 期間中、渋滞が大幅に減りました。

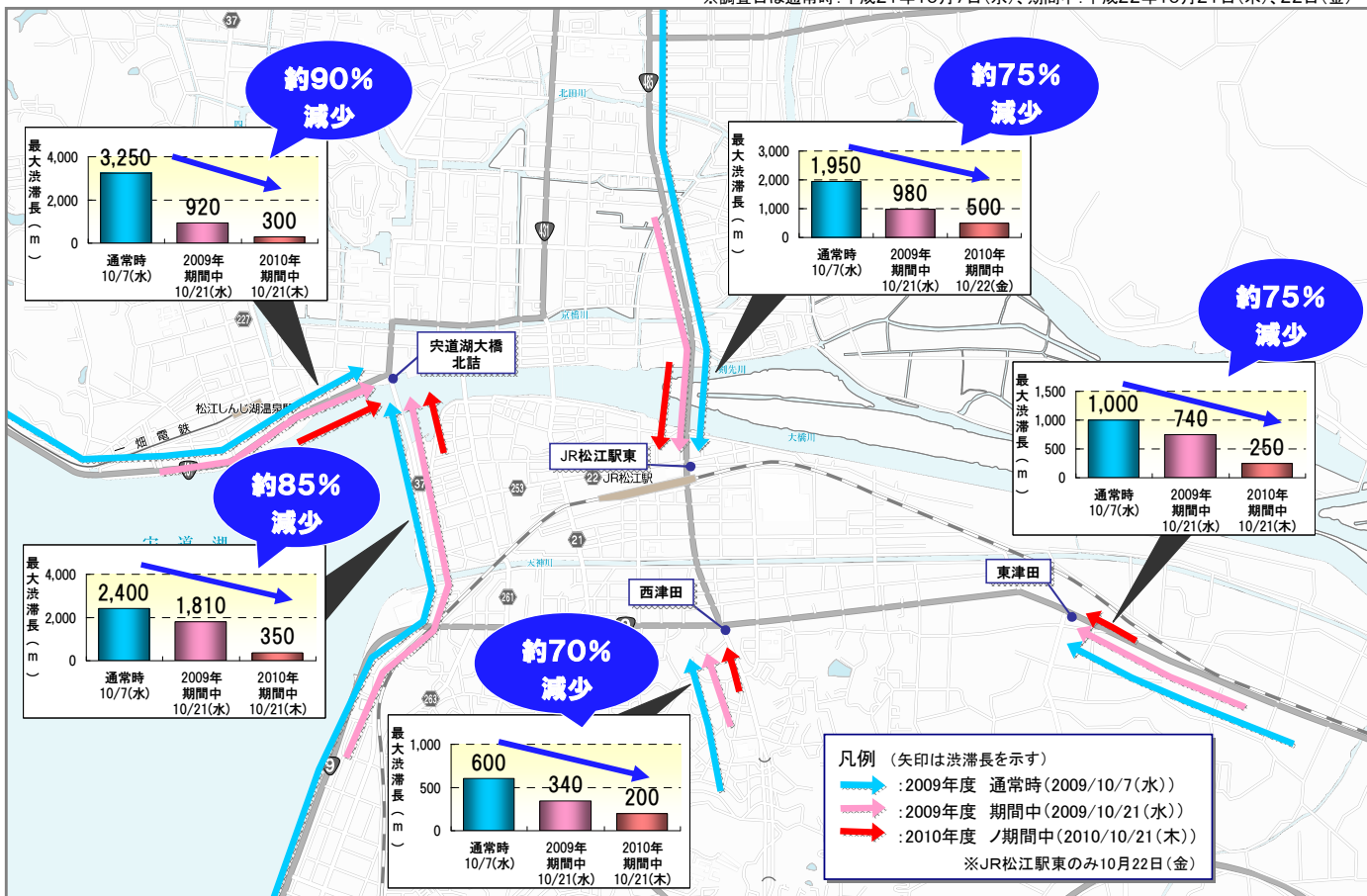
- 期間中多くの市民・事業所がマイカーから公共交通や自転車・徒歩等に転換した結果、市内の主要交差点（主要渋滞ポイント等）で朝ピーク時の渋滞長が軒並み減少しました。（下図参照）

- ・最大渋滞長が宍道湖大橋北詰(東進)で約90%減少(H21:約70%減少)、JR松江駅東(南行き)で約75% (H21:約50%減少)減少 等

- 今回のノーマイカーウィークでは、市・県等の行政職員も率先して取り組んだため、宍道湖大橋北詰交差点等で大幅に渋滞長が減少したものと考えられます。

■渋滞状況の比較（朝ピーク時(7時～9時)の最大渋滞長）

※調査日は通常時:平成21年10月7日(水)、期間中:平成22年10月21日(木)、22日(金)



<宍道湖大橋北詰交差点の状況>



平成22年10月15日AM7:45頃

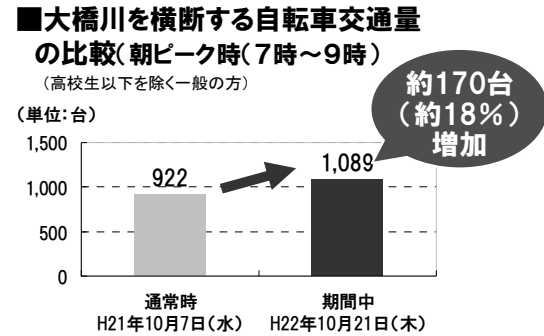
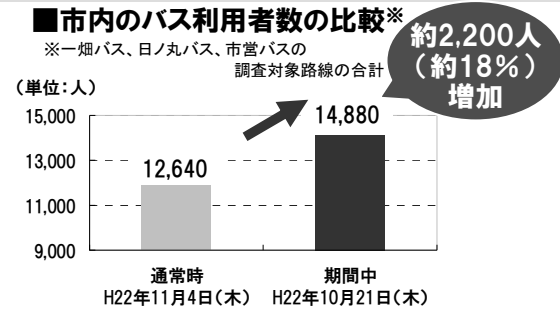


平成22年10月19日AM8:00頃

クルマの流れがスムーズになると共に歩道利用者(自転車・歩行者)が増加

効果2 鉄道・バスの乗客数、自転車・パーク&ライド駐車場利用者が増えました。

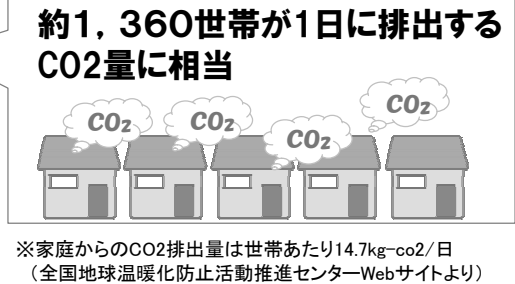
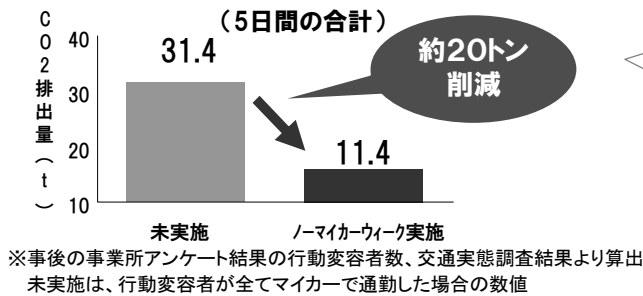
- 期間中、松江市内の路線バスの乗客数が約18%増加(H21.約10%増加)。
- 宍道駅・玉造温泉駅の朝の通勤時間帯のJR利用者数が約30%増加。
- 市内12箇所のパークアンドライド駐車場を、期間中延べ178人(H21は14人)が利用。(美保関総合運動公園:38名、北公園駐車場:37名、松江イングリッシュガーデン:25名、竹矢公民館:25名 等)
- また、事後の事業所アンケート結果よりマイカーからの転換交通手段として最も多かった自転車は、期間中の自転車通行量が軒並み増加。
 - 大橋川を横断する自転車交通量が約18%増加(H21.約30%増加)等
※宍道湖大橋、新大橋、大橋、くにびき大橋の4橋の合計
- 要因としては、ノーマイカーウィーク期間に合わせて松江市内路線バス運賃一乗車100円、パーク&ライド、JR交通社会実験などの公共交通の利用促進を図ったこと等が考えられます。



効果3 CO2の排出量が約20トン削減されました。

- 平日の5日間において延べ約3,000人がマイカーから公共交通や自転車・徒歩等に行動を変容された結果、約20トンのCO2排出量が削減されました。これは、約1,360世帯が1日に排出するCO2の量に相当します。(H21:約3,200人、約15.4トン、約1050世帯)

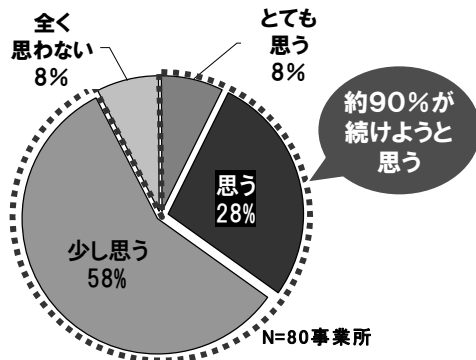
■ノーマイカーウィークによるCO2削減量



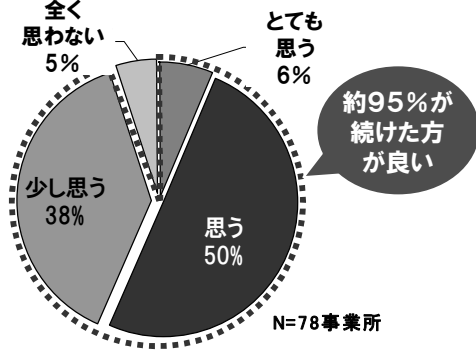
効果4 ノーマイカーの取り組みの機運が高まりました。

- 事業所アンケート結果では、約90%が「今後もクルマ利用を控える取り組みを続けよう(はじめよう)と思う」(H21:約80%)、約95%が「ノーマイカーウィークの取り組みを続けた方が良いと思う」(H21:約95%)と回答するなど肯定的な意見が多くみられ、今回のノーマイカーウィークをきっかけにクルマ利用を控える取り組みの機運が高まりました。
- また、38%の事業所が期間中業務での移動でもマイカー利用を控える取り組みを実施されました。

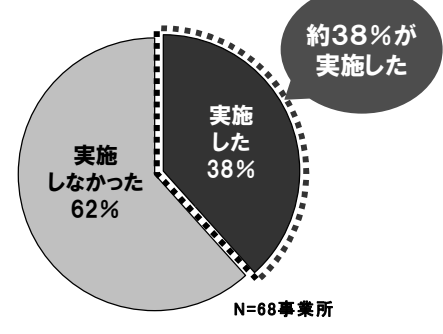
■今後、クルマ利用を控える取り組みを続けよう(はじめよう)と思うか?



■今後もノーマイカーウィークの取り組みを続けた方が良いと思うか?



■期間中「クルマでの業務移動」を控える自転車や徒歩、公共交通等での移動を実施されましたか?



※事後の事業所アンケート結果より

継続実施による効果 ノーマイカー通勤者が増えています。

- 事業所アンケート結果では、昨年のノーマイカーウィーク以降、約10%の事業所で「車通勤をやめた」、約20%の事業所で「時々車以外で通勤する人が増加した」と回答するなど、ノーマイカーウィークをきっかけに、ノーマイカー通勤者が増えています。

3. 参加者からの声

① 取り組みに参加してよかったこと

- 期間中に徒歩・自転車で通勤した方からは、「運動になった」、「気分が良かった」、「心身ともにリフレッシュになった」、等の声が、公共交通で通勤した方からは「たくさん歩くので健康に良い」、「公共交通機関の利用増加につながった」などの声が多く寄せられました。

- ・ 宍道湖を眺めながらの通勤は心身ともリフレッシュできた。
- ・ 肉体的にも精神的にもリフレッシュ出来る時間になった。
- ・ 晴天であれば徒歩や自転車は気分が良かった。
- ・ 自転車だとあいさつを交わすことができた。
- ・ 少しでも歩くことで健康づくりになった。
- ・ CO2削減に貢献ができた。
- ・ 朝の通勤渋滞が緩和された。
- ・ 交通量減につながった。
- ・ 相乗中に普段出来ないいろいろな話が出来た。
- ・ 意識付けとともに公共交通機関の整備・環境への取り組み等考える良い機会になった。 等

※事後の事業所アンケート結果より

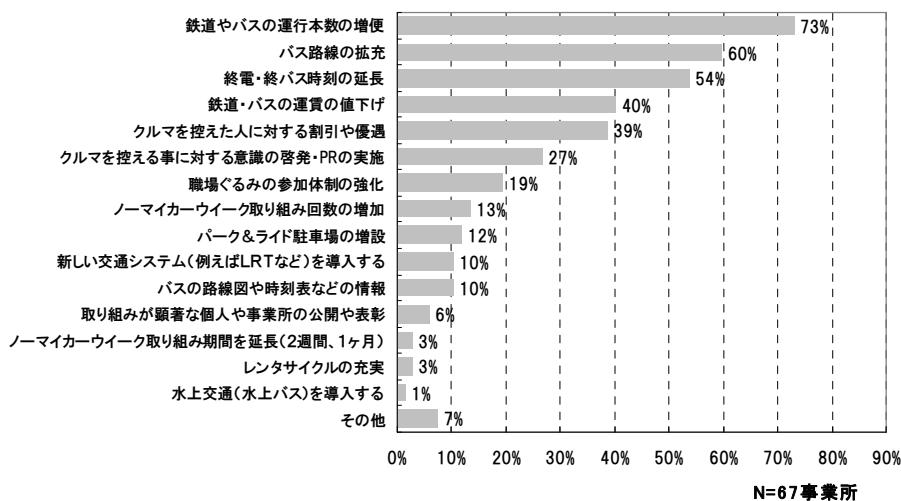
② ノーマイカーの取り組みを進める上での課題

- 今後、クルマ利用を控える取り組みを進めていく上での課題として、「公共交通の充実・利便性の向上」、「安全で快適な歩行者・自転車環境の整備」など貴重なご意見を数多くいただきました。
- みなさまからの貴重なご意見は環境改善の参考にさせていただきます。

- ・ バスや電車の本数が少ない、終バス時刻が早すぎる。
- ・ 通勤時間帯のバスの便が悪い。
- ・ 公共交通の利用は、乗継ぎも多く不便である。
- ・ 自家用車を公用車としても使用している。
- ・ 帰宅時の暗い道（街路灯不足）に不安を感じた。
- ・ 自転車が通行できる（歩行者と交錯しない）環境を整備してほしい。
- ・ 通勤環境が整備されないと難しいと思う。 等

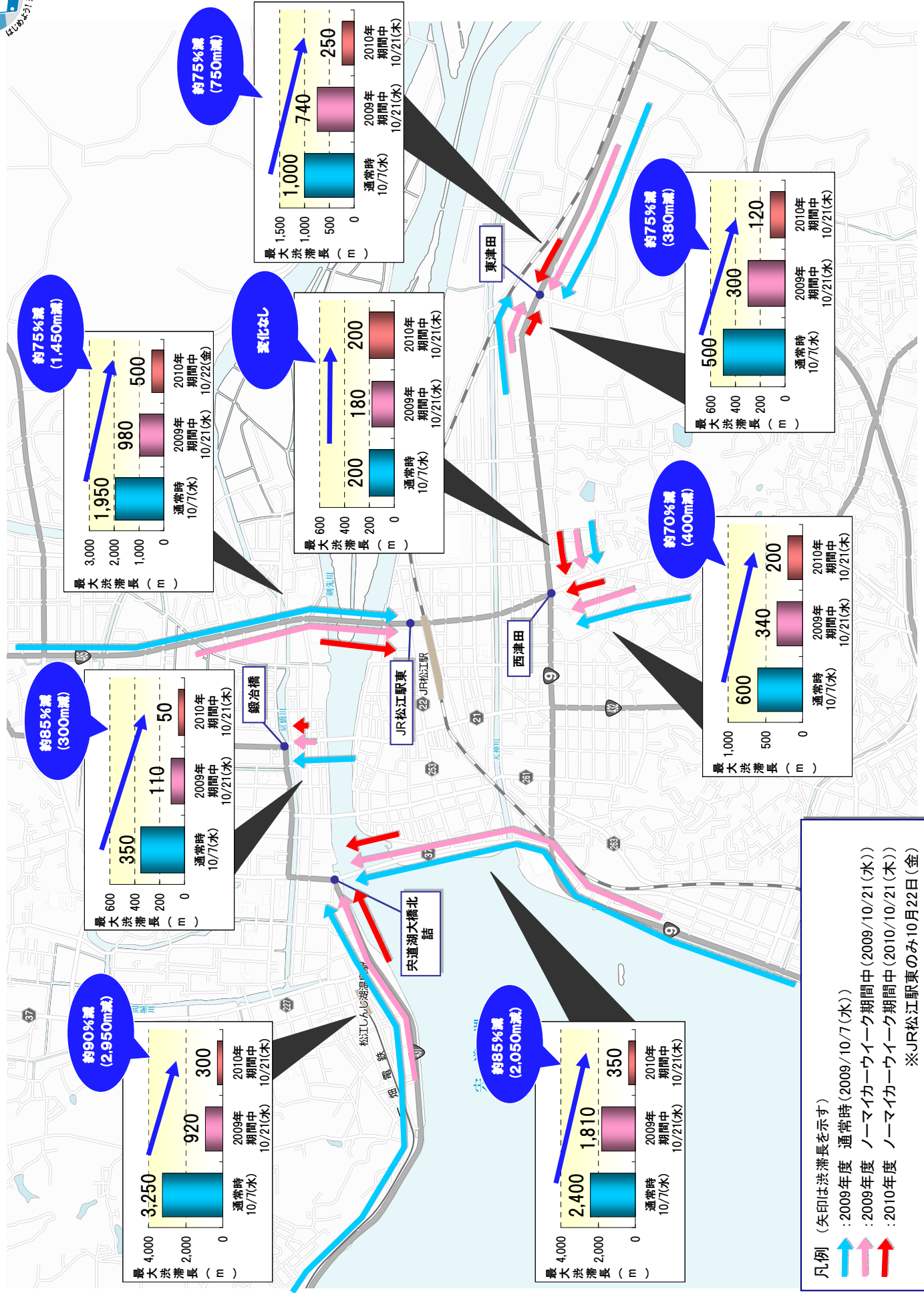
※事後の事業所アンケート結果より

<今後、クルマ利用を控える取り組みを進めていく上で重要だと思うこと>



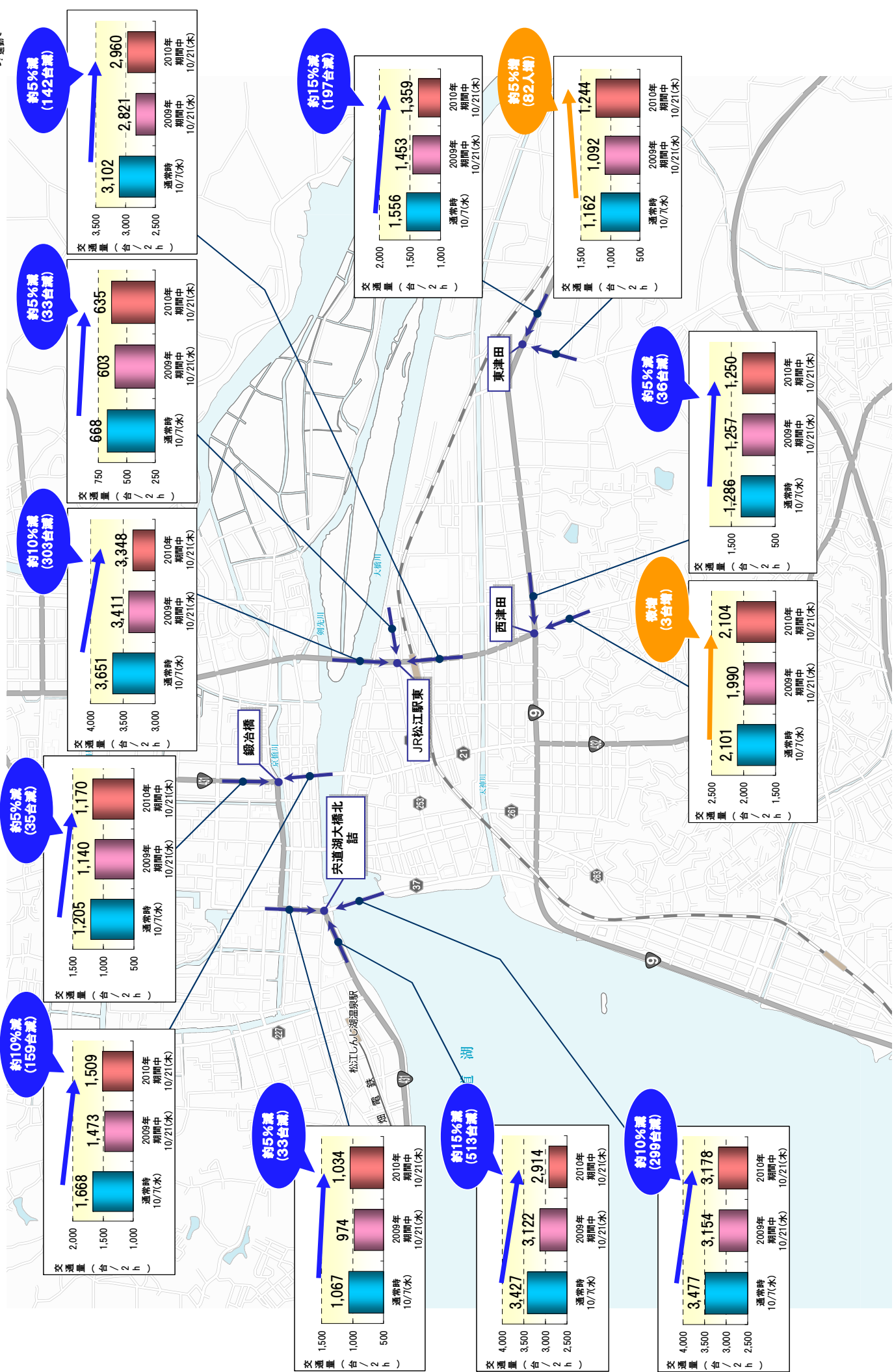
市民のみなさまが、少しずつ力を集結することでCO2削減や渋滞緩和、公共交通の利用促進に大きな効果をあげることができました。

今後も引き続き松江市のより良好な交通と環境の実現に向けた市民・事業所への意識啓発を継続して実施していく予定です。



凡例 (矢印は渋滞長を示す)
 ↑ : 2009年度 通常時(2009/10/7(水))
 ↑ : 2009年度 ノーマイカーウィーク期間中(2009/10/21(水))
 ↑ : 2010年度 ノーマイカーウィーク期間中(2010/10/21(木))
 ※JR松江駅東のみ10月22日(金)

松江市一斉ノーマイカーウィーク 期間2010年10月18日(月)～24日(日) ②自動車交通量の比較(朝ピーク時(7時～9時))



松江市一斉ノーマイカーウィーク 期間2010年10月18日(月)~24日(日) ③自転車交通量の比較(朝ピーク時(7時~9時))



※高校生以下を除く
一般の方の自転車交通量

